

日刊建設通信新聞（2022年12月9日付 3面掲載）

【オリコンサルHDが定例会 社会課題解決へ事業モデル構築】

## 社会課題解決へ事業モデル構築



オリコンサル  
HDが定例会

オリエンタルコンサルタンツホールディングスは6日、第30回定例会を開いた。写真。ビデオ会議ツールとストリーミング配信により約1400人のグループ役員が参加し、グループ各社が取り組む重点化プロジェクトの成果を共有した。

定例会は、2030年ビジョン・中期経営計画の基本方針である「事業創造・拡大」「人材確保・育成」をグループ全社が一丸となって推進する場として位置付けている。今回はグループ各社から重点化プロジェクト8件の成果と今後の展開が発表され、活発

に質疑を交わした。

出席した役員によるインターネット投票の結果、最優秀賞に神代秀樹さん（リサーチアンドソリューション）の『高齢者の効率的・継続的な避難支援モデルの構築』、優秀賞には馬越正純さん（オリエンタルコンサルタンツ）の『道路リスク評価手法検討PJ』と、戸口伸二さん（エイテック）の『森林経営管理制度におけるICTスマート林業の推進支援』がそれぞれ選ばれた。

最後に野崎秀則社長は、発表された8件について「事業の全体最適化を目指したマネジメントやDXの推進などに資する取り組みであり、30年ビジョン・中期経営計画の達成に向け、今後も重点化プロジェクトを積極的に推進し、社会の課題解決に貢献する事業モデルの構築により、社会に新たな価値を提供しよう」と呼び掛けた。